

# KAERU PROJETO 日本セミナー2010

日本からブラジルに帰国した家族・子どもたちの現状は？  
帰国前にすべきこと、帰国後にやらねばならないことは何か？

ブラジルの現状はどうか？帰国した家族は？帰った子どもたちは直ぐに学校に入ることが出来、また問題無く順応出来ているのでしょうか？

昨年引き続きサンパウロ州で帰国児童のケアを進める活動「カエルプロジェクト」を進めておられる Dr. ナカガワ及び一緒に活動されておられる澄田・クリスチーナさんに来日頂き、帰国児童生徒の抱える問題点などをお話頂きます。

## 「カエルプロジェクト」とは？

サンパウロ州教育省とサンパウロ州 NPO 法人「教育文化連帯学会（ISEC=Instituto de Solidariedade Educacional e Cultural）」が実施している活動。

（ブラジル三井物産基金の支援あり）

目的は、日本より帰国した日系ブラジル人子どもたちの健全な成長に向け、ブラジル社会への順応・スムーズな学校への編入などを出来る様にするための支援です。



この活動を始めた理由は、日本で就労した（出稼ぎ）家族の子どもたちが帰国後、学校への編入の際に様々な問題が発生しているからです。特に、日本滞在が長期化し、日本生れの子もいるので、母語のポルトガル語の能力不足、日本とブラジルの文化・社会環境の違いからストレスや精神的・情緒的不安に悩む子どもたちが増えています。

そのための受入れ体制の整備（心理的・社会的・教育支援及びポルトガル語・ブラジル人社会の文化・習慣・ルールを教えるための補習など）が急務であり、このカエルプロジェクトはその具体的な活動の第一歩です。

今回は保護者の方々を中心にポルトガル語で進めます。ポルトガル語・日本語の同時通訳の準備も行います。

会場の方々との質疑応答の時間も設けますが、基礎的な質問はお配りしてある Q+A にありますのでそれを参考にして頂き、それに含まれないものに限定するようにお願いします。

Retornar

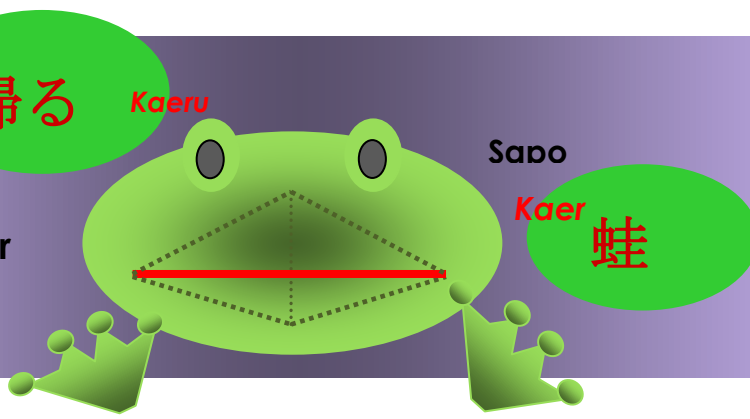
帰る Kaeru

Transformar

変える Kaeru

Sapo

Kaer 蛙





中川郷子 (なかがわきょうこ)

心理科医サンパウロ・カトリック大学(PUC-SP)修士号・博士号。「カエルプロジェクト」コーディネーター  
数年前から日本から帰国した児童の就学指導・カウンセリングを行う「カエルプロジェクト」を主宰。  
日本におけるブラジル人児童および青少年に関する著作多数。



澄田春美 (すみたはるみ)・クリスティーナ

ブラジルサンパウロカトリック大学心理学士、社会心理学修士、サンパウロ医科大学、法律医学部研究者。サンマルコス大学人類心理学教師。  
ISEC カエルプロジェクトの心理学士として  
Dr 中川と一緒に活躍中。

## スケジュール

### 10月29日(金) KAERU PROJETO 日本セミナー2010 (豊田市保見町)

会場：豊田市 保見交流会館 豊田市保見町四反田 121-1 (愛知環状鉄道保見駅向い)

\* 駐車場が満車の場合は伊保小学校運動場をお使い下さい (豊田市保見町権堂坊1)

時間：19:00~21:00

連絡先：豊田市国際交流協会 Tel. 0565 33 5931

火曜日~日曜日 午前9時~午後7時(但し、日曜日は午後5時まで)

\* 講演はポルトガル語です。日本語通訳用レシーバーが必要な方は、事前申し込みをお願いします

### 10月30日(土) 個別相談

会場：西保見小学校 (図書室)

時間：午前9時30分 ~ 午後12時

費用：無料

\* 個人的に相談を希望する場合には、必ず事前に申し込みをしてください。(定員6名)

① 10月29日のセミナー会場で申し込み

② NPOトルシーダへ電話で申し込み ☎ 090 6462 3867 (日本語)

☎ 080 3283 2395 (ポルトガル語)

主催：三井物産株式会社

協力：NPO 法人 国際社会貢献センター (ABIC)

NPO 法人 トルシーダ

後援：愛知県、豊田市、(財)豊田市国際交流協会

豊田市教育委員会 (予定)